



酒田五法 (6) 三山

Vol.63 2008/5/15

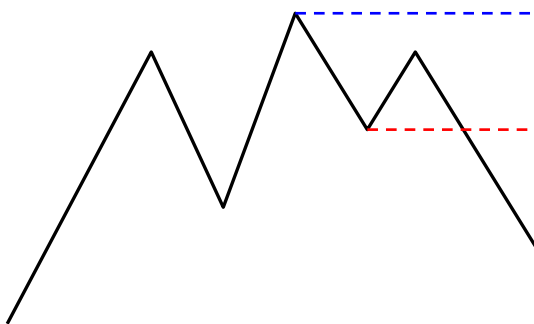


酒田五法のパターン分析に「三山」があります。三山とは売りのシグナルで（買いのシグナルは逆三山といいます）陰陽3本足の組合せで判断するのではなく、ある一定期間のチャートパターンを見て分析していくものです。山を三つ作ることからこのように呼ばれています。ポイントは「発生の型」「発生する価格帯」、そして「出来高」となります。まずは売りのパターンである三山を見ていきます。

【酒田五法その3】三山

三山とは、「上伸して下押しする」という動きを三度繰り返す型で、高値圏で発生した場合の大天井を表す売りパターンです（底値圏で下押しして上伸するを三度繰り返す型は大底を示す買いパターンで逆三山）。三山の代表的なものに2番目の山が最も高い「三尊天井」があります。三尊とは、文殊・釈迦・普賢の三尊仏の並びに由来しています。三尊天井は米国においてもヘッド・アンド・ショルダーと呼ばれ天井形成の典型と言われます。三山では真ん中が高いのが典型的ですが、変形した型で現れることもあります。また出来高の面を見ますと、山の頂上付近で出来高が多くなるのが分かります。ロウソク足だけではなく、出来高のチャートでもロウソク足と同じように三つの山を作る動きとなるとシグナルとしての信頼度が高くなると考えられています。

【どこで三山と判断するの?】



ストレートに言うと、三山はトレンド分析です。高値・安値を切り上げながら上昇するものを上昇トレンドといいます。

左図で考えると、2番目の山を下って止まった位置（赤線）までは高値・安値ともに切り上がっていました。しかし、その後の上昇では高値を切り上げることに失敗（青線を抜けない）しています。更にその後、安値も切り上げることが出来ず、前の安値（赤線）を割り込んでしまいます。この時点で三山と判断することができます。

つまり「上値を3回試したが高値更新が止まり、前の安値を割り込んだ三つの山」といえます。この条件を満たせば、三つの山が全く同じ高さでも三山と判断できます。

次回は買いのパターンとなる「逆三山」をみていきます。

Copyright (C) 2008 MARUSAN - SEC. All rights reserved

簡単・安心・お得

ぬくもりあるオンライントレード

丸三証券の③トレード

金融商品取引法に基づく重要な注意事項

〔当社の概要〕 商号等：丸三証券株式会社 金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第167号
加入協会：日本証券業協会

〔手数料等の概要〕

上場有価証券等に関する手数料等の概要

- ・「一日コース」による株式の売買取引には、売買代金に対し最大税込 0.084% (30万円以下の場合 252円) の委託手数料をいただきます。
- ・「銘柄コース」による株式の売買取引には、売買代金に対し最大税込 0.105% (20万円以下の場合 210円) の委託手数料をいただきます。
- ・「夜間取引」による株式の売買取引には、売買代金に対し最大税込 0.105% (100万円以下の場合 1050円) の委託手数料をいただきます。
- ・上場有価証券等のうち転換社債型新株予約権付社債(CB) の売買取引には、売買代金に対し最大税込 0.105% (100万円以下の場合 1050円) の委託手数料をいただきます。
- ・株式を募集・売出し等により取得する場合は、購入対価のみのお支払となります。
- ・信用取引により株式等を売買する場合は、上記委託手数料とは別に、委託保証金として売買代金の 40% 以上かつ 30万円以上の預託が必要となります。その他に管理費及び権利処理費等をいただきます。また新規買付の場合、買付代金に対する金利を、新規売付の場合、売付株券等に対する貸株料及び品貸料をいただきます。

投資信託に関する手数料等の概要

- ・投資信託の購入等にあたりお客様にご負担いただく費用として、申込手数料(申込時に直接ご負担いただく費用)、信託財産留保金(換金時に直接ご負担いただく費用)、信託報酬(保有期間中に間接的にご負担いただく費用)などがあります。
- ・これらの費用は商品毎に異なりますので、詳細は各商品の目論見書又は当社ホームページの各商品ページをご確認ください。

〔リスクについて〕

上場有価証券等に関するリスク

- ・株価の変動等により損失が生じる恐れがあります。外国株式は、為替相場の変動等により損失が生じる恐れがあります。
- ・転換社債型新株予約権付社債(CB)は価格の変動等により損失が生じる恐れがあります。また権利行使できる期間や条件に制限があります。
- ・信用取引では委託保証金の額に対して最大 2.5 倍の投資が可能です。したがって信用取引においては損失の額が預託した委託保証金の額を上回る可能性があり、投資元本以上の損失が生じる恐れがあります。

投資信託に関するリスク

- ・主な投資対象が国内株式である投資信託の基準価額は、組み入れた株式の値動きにより上下しますので、これにより投資元本を割り込む恐れがあります。
- ・主な投資対象が円建て公社債である投資信託の基準価額は、金利の変動等による組み入れ債券の値動きにより上下しますので、これにより元本を割り込む恐れがあります。
- ・主な投資対象が株式・一般債にわたっており、且つ、円建・外貨建の両方にわたっている投資信託の基準価額は、組み入れた株式や債券の値動き、為替相場の変動等の影響により上下しますので、これにより投資元本を割り込む恐れがあります。
- ・これらのリスクは商品毎に異なりますので、詳細は各商品の目論見書又は当社ホームページの各商品ページをご覧ください。

〔契約締結前交付書面等について〕

各商品等のご購入のお申込にあたりましては、当社より所定の契約締結前交付書面(投資信託においては目論見書及び目論見書補完書面)を交付いたします。書面をよくお読みいただき内容を十分にご理解いただいたうえでお申込いただきますようお願いいたします。